

川崎市子ども発達・相談センターについて

障害保健福祉部 障害計画課
総合リハビリテーション推進センター 企画・連携推進課



川崎市自殺対策推進キャラクター「うさッピー」

目次

- 1 子ども発達・相談センターとは
 - ・ 設置の経緯と目的
 - ・ 開設場所の案内

- 2 子ども発達・相談センターの体制と実務
 - ・ 相談体制
 - ・ 支援の流れ
 - ・ 支援内容（センター内児童発達支援事業所）
 - ・ 皆様へのお願い

※動画内のスライドでは、「・支援内容（センター内児童発達支援事業所）」部分の記載誤りがありましたので、配布資料のみ修正しております。

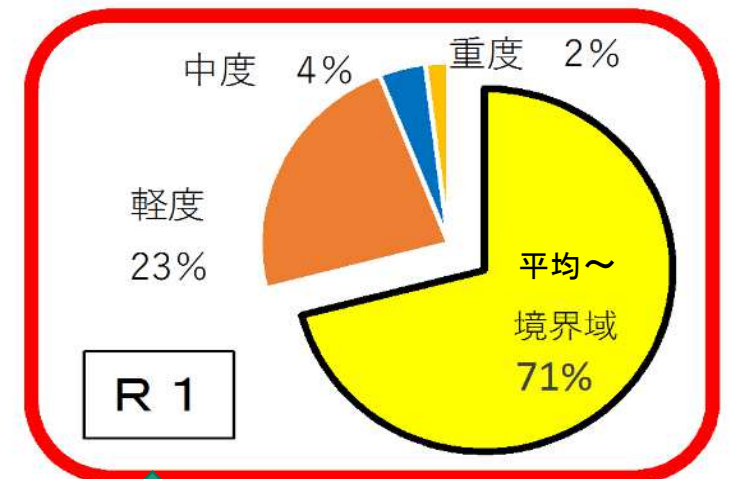
01

子ども発達・相談センターとは

子ども発達・相談センター設置の背景

- 社会的な障害に対する認識の高まり等により、地域療育センター（市内4か所）の来所者数が増加
- 特に、療育手帳に該当しない知的に平均～境界域の児童に関する相談が多くを占める

	H25	R1	増加率
人口(18歳未満)	223,570	226,202	+1%
療育手帳B2(軽度)新規取得者数(児者)	202	272	+35%
地域療育センター新規来所者数	1,535	2,051	+34%



地域療育センターにおける顕在化した課題

- ①新規相談、心理検査、診察までの待機期間が長期化
- ②より手厚い支援が必要な中重度障害児（医療的ケア児を含む）
に対しての支援が十分に行き届かない
- ③保育所、幼稚園、学校等へのアウトリーチ支援（訪問支援）
が不足



課題解決に向けた取り組みの方向性

⇒知的に平均～境界域のお子さんを対象とした新たな相談機関

子ども発達・相談センターを整備

⇒地域療育センターの待機期間の縮小

⇒地域療育センターは中重度の障害（医療的ケアを含む）に重点的に対応

⇒保育所、幼稚園、学校等に対するアウトリーチ支援を強化

きっずサポート あさお
(R5.10 開設)

きっずサポート たま
(R4.10 開設)

子ども発達・相談センター
(通称：きっずサポート)
を各区に順次開設

きっずサポート なかはら
(R6.10 開設)

きっずサポート さいわい
(R3.10 開設)

きっずサポート みやまえ
(R4.10 開設)

きっずサポート たかつ
(R6.10 開設)

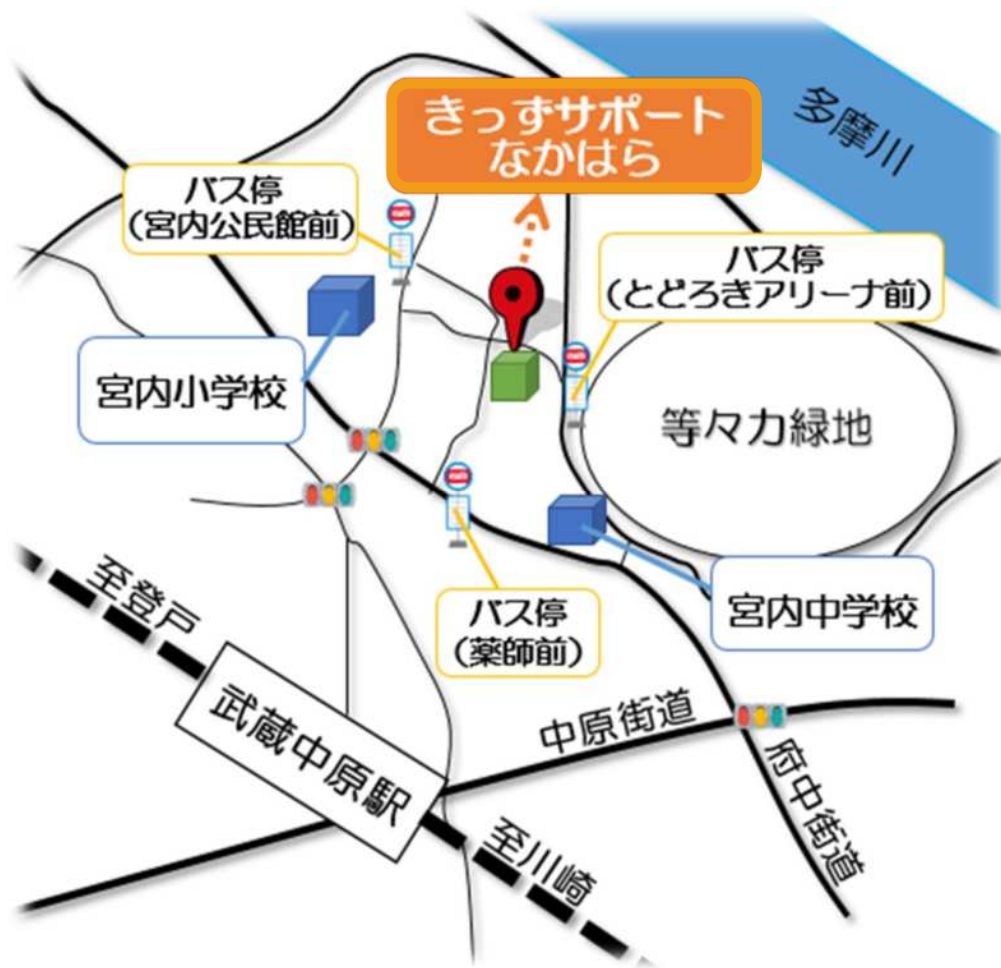
きっずサポート かわさき
(R3.10 開設)

設置している区在住の
子どもが支援対象です！



きっずサポートなかはら 開設場所

外観写真



中原区宮内4丁目19

きっずサポートたかつ 開設場所

外観写真



高津区梶ヶ谷2丁目8-15

きっずサポート たかつ内の様子



↑相談室

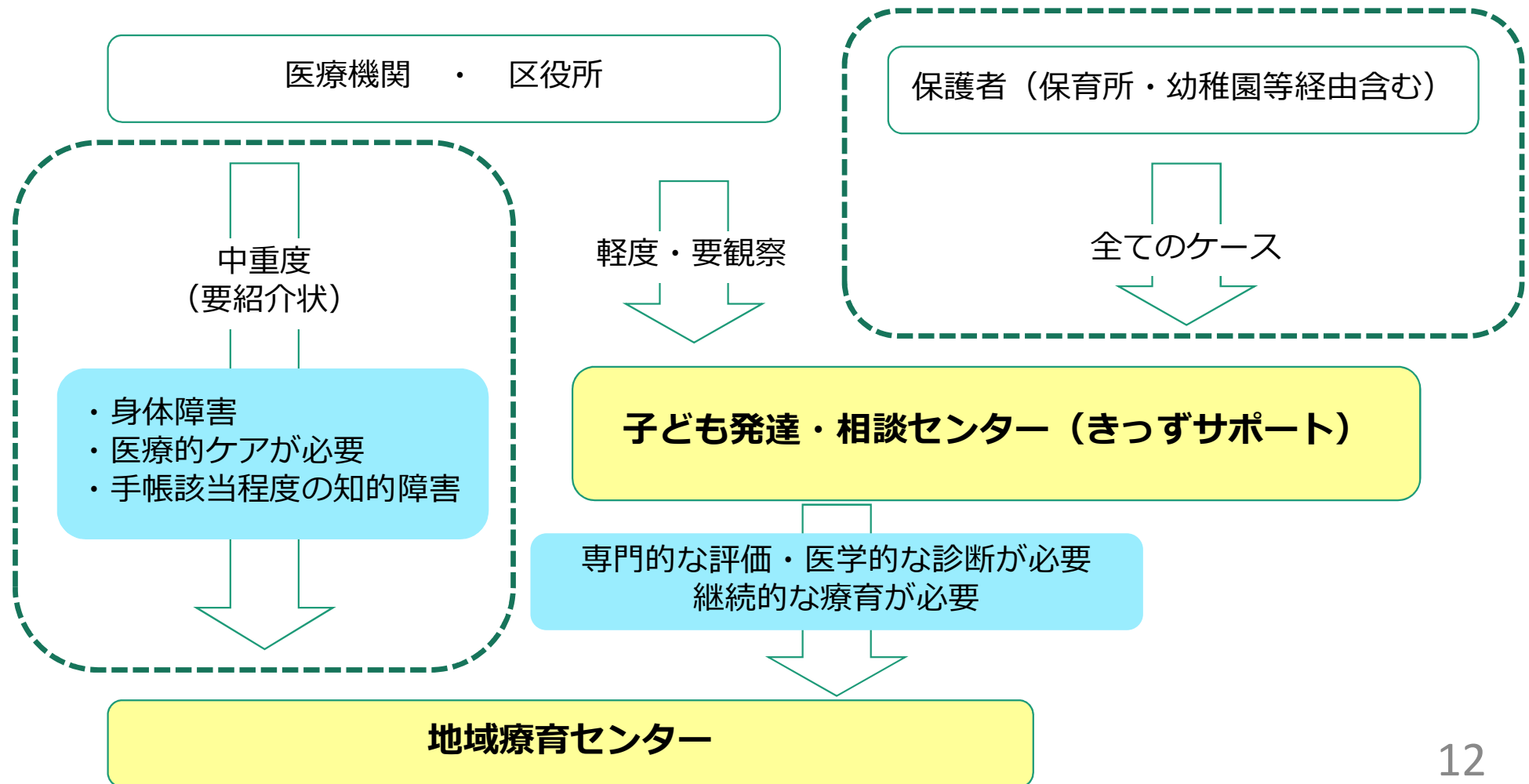


→保育室（児発）

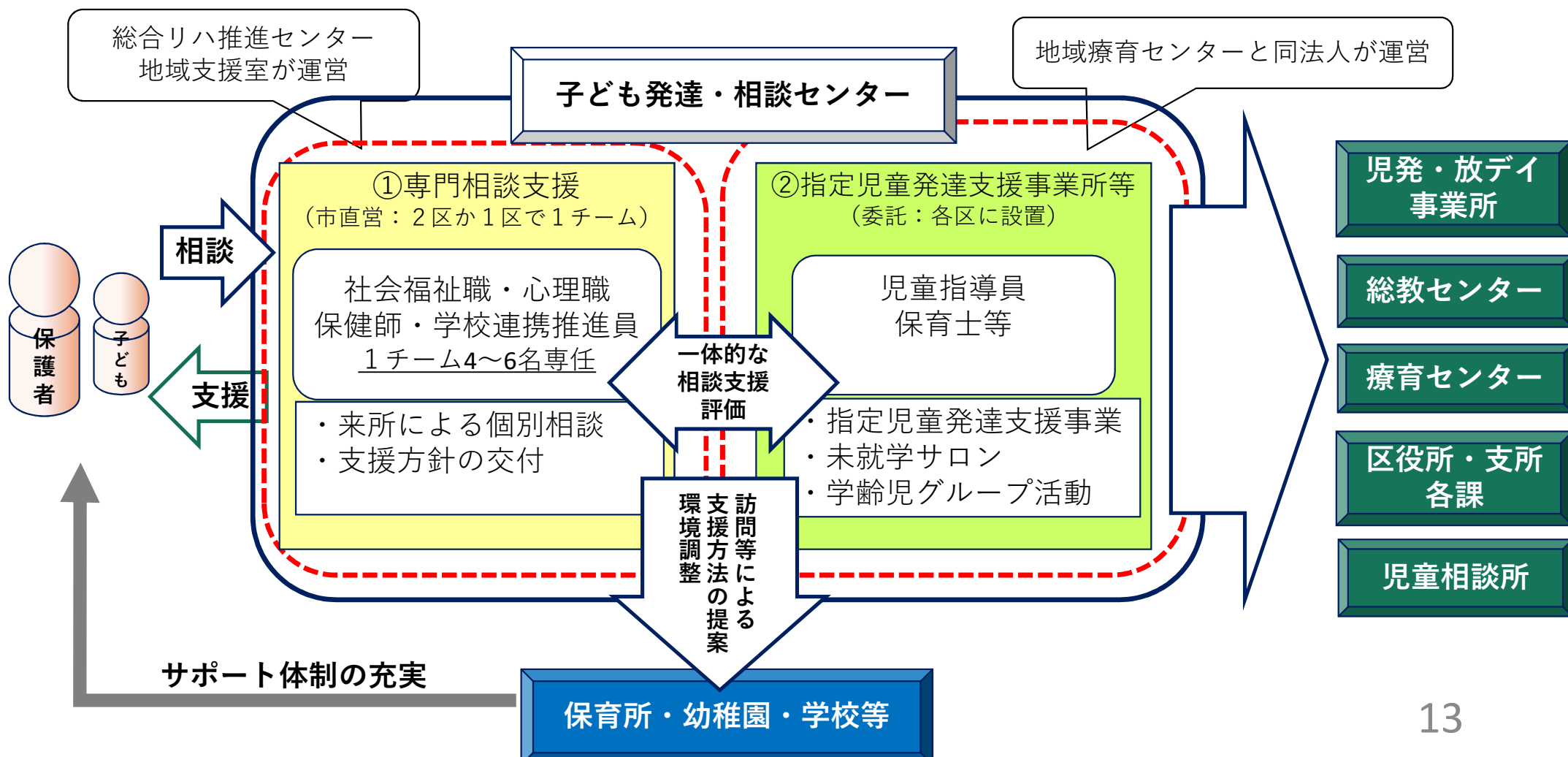
02

子ども発達・相談センターの体制と実務

発達・障害相談の新規受付ルート

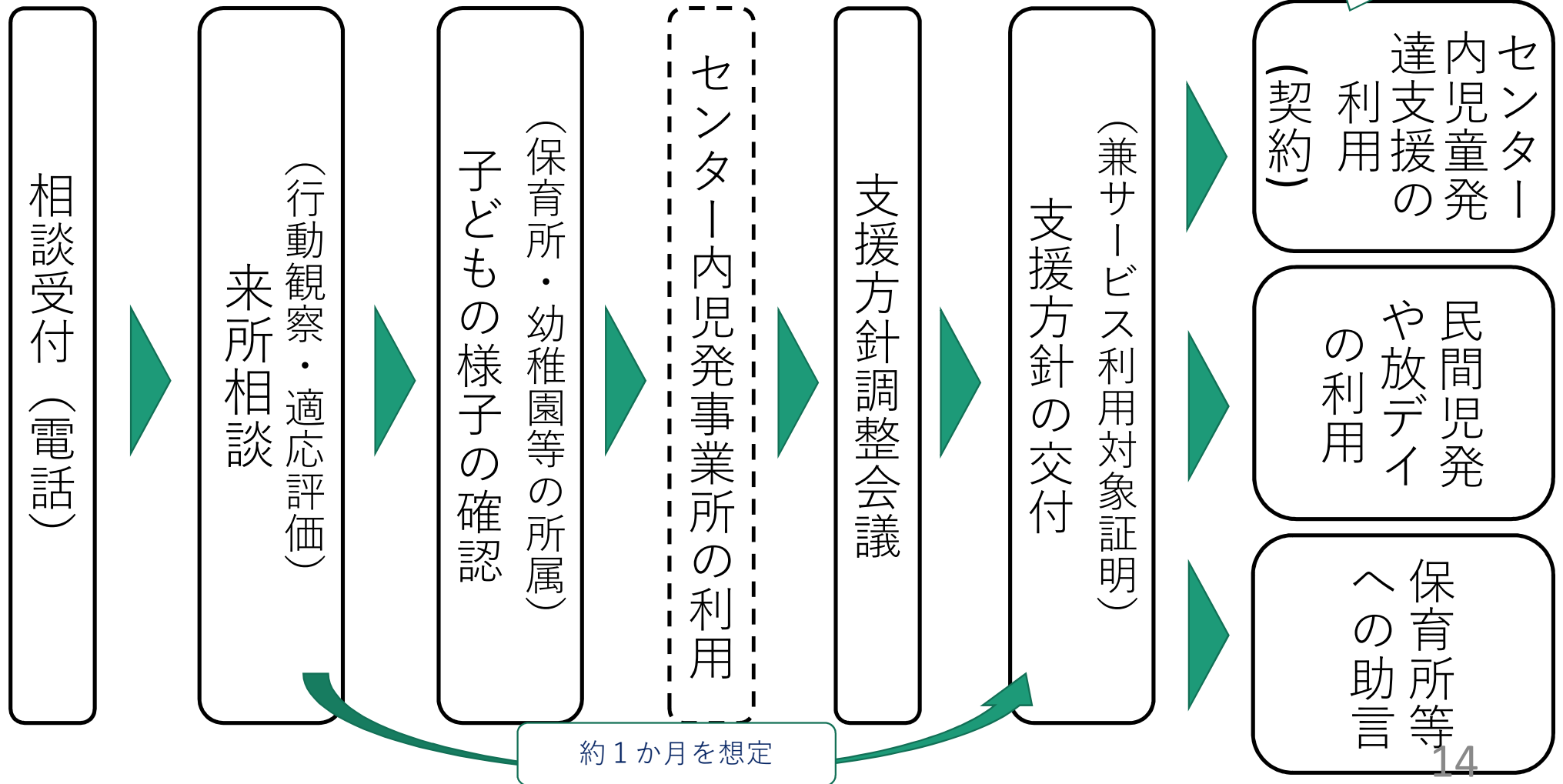


子ども発達・相談センターの体制



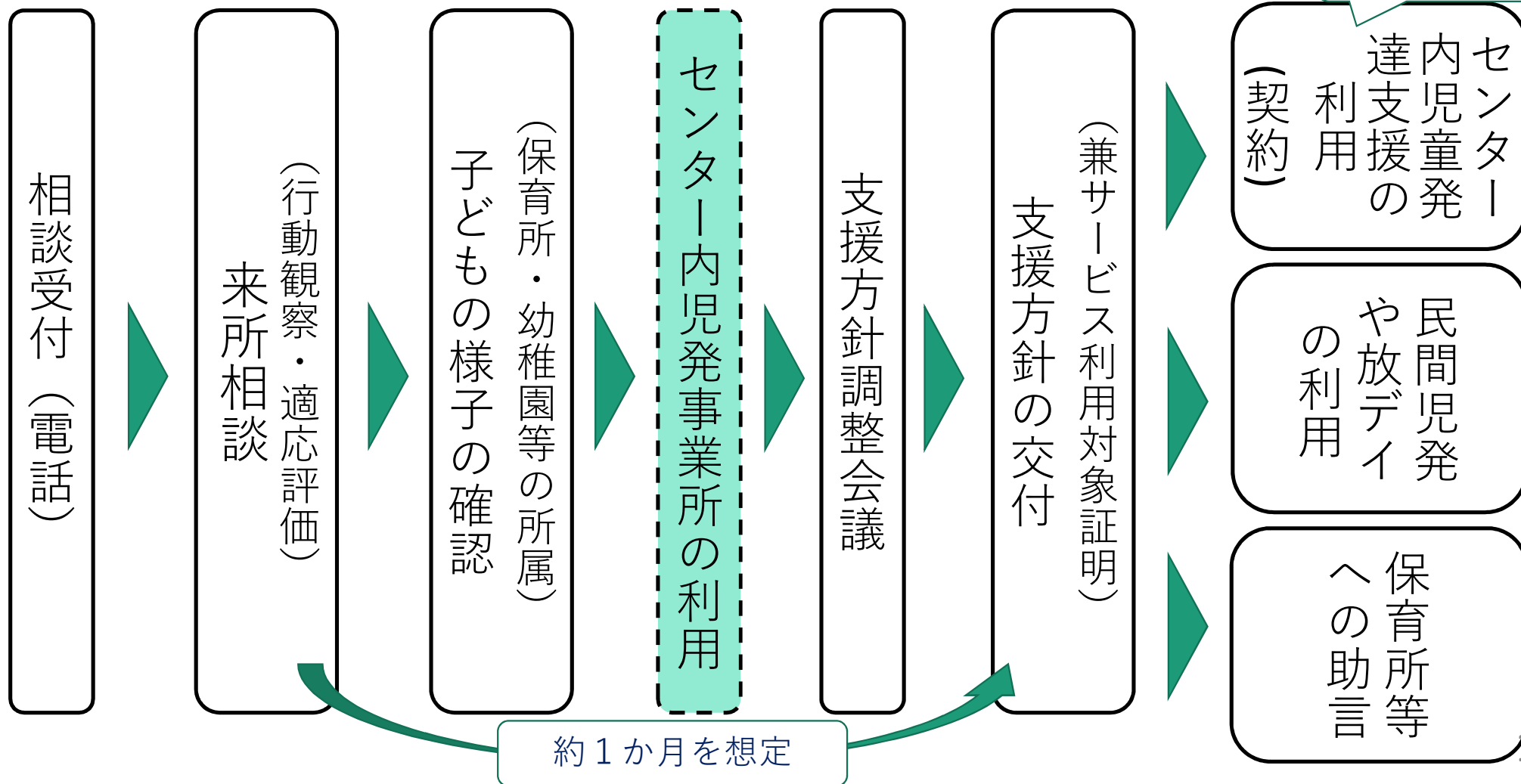
未就学児の相談支援の流れ

3 か月～6 か月の
期間限定



面接（行動観察・適応評価）について

3 か月～6 か月の
期間限定

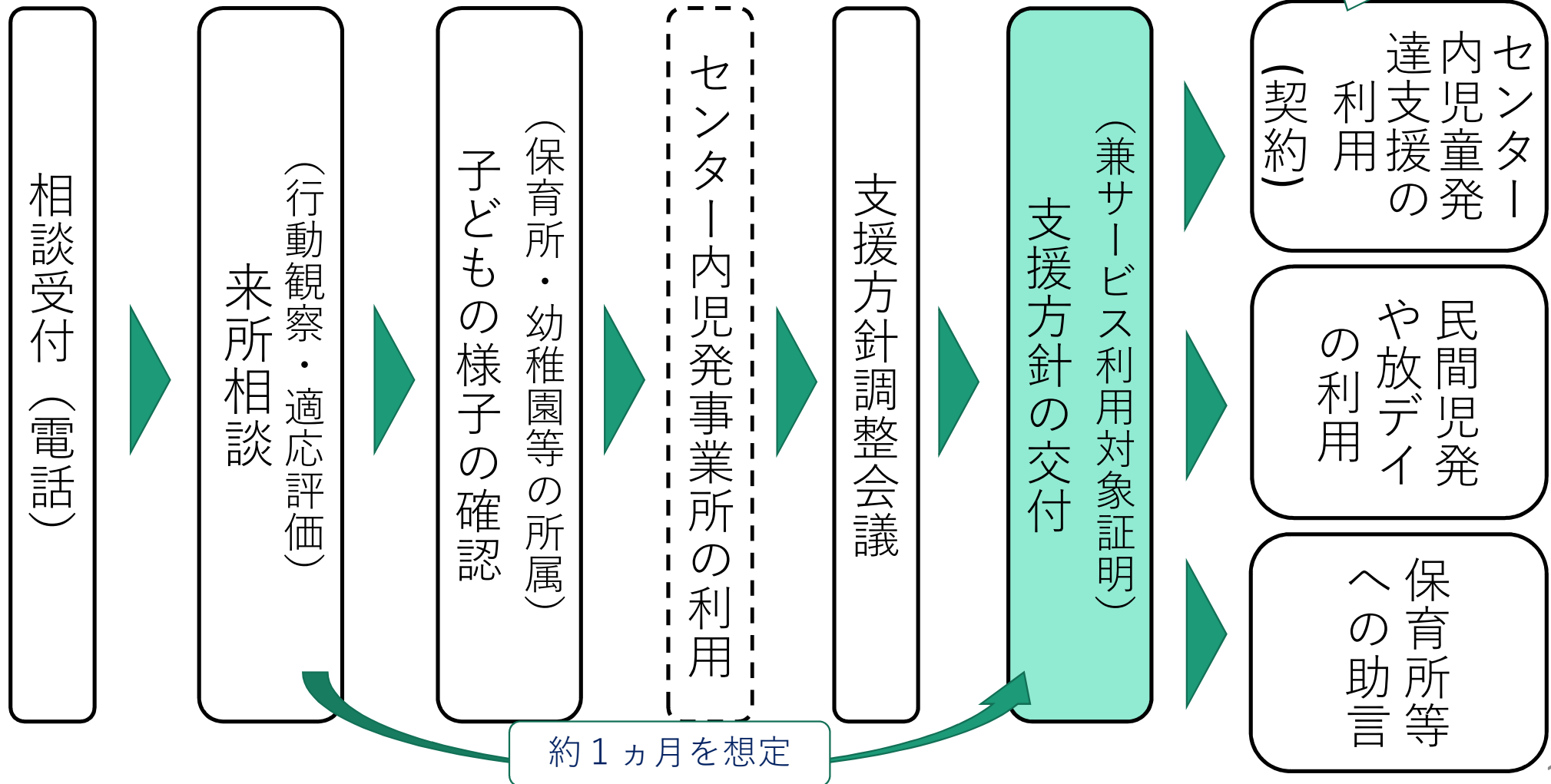


児童発達支援事業所（体験利用）について

- ・ 集団場面におけるお子さんの評価を行うために、センター内の児童発達支援事業所を体験として利用していただくことがあります。
- ・ 体験利用を行ったお子さんがセンター内児発の本利用、または他の事業所等の利用を提案する場合があります。

支援方針の交付について

3 か月～6 か月の
期間限定



支援方針の交付

来所相談から概ね1か月後に保護者と面接を設定し、支援方針を交付します。

様式 5-1

支援方針（案）

本人氏名	生年月日	交付日
作成機関 川崎市子ども発達・相談センター きっずサポートかわさき	作成者	更新時期

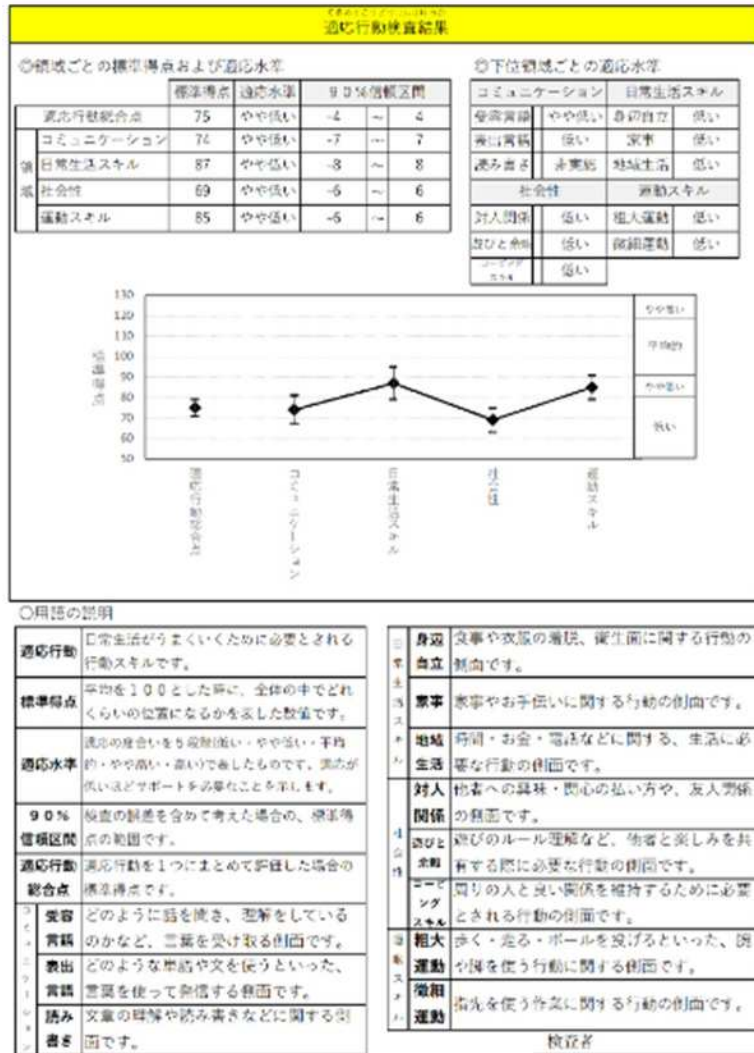
本人・家族の意向（希望する生活）	本人・家族が困っていること・サポートが必要なこと
支援方針	
支援する機関	
<input type="checkbox"/> 児童発達支援・放課後等デイサービス <input type="checkbox"/> 小中学校・児童館・高校 <input type="checkbox"/> 児童養育施設 <input type="checkbox"/> 児童相談所・児童福祉センター <input type="checkbox"/> その他	
【サービス利用対象証明欄】 上記の内容から、（サービス名称を記載）の利用対象であることを証明します。 （サービス利用対象期間：令和 年 月 日～令和 年 月 日まで） 【確認欄】 私は、支援方針について説明を受け、同意しました。 令和 年 月 日 同意者氏名（保護者） 川崎市子ども発達・相談センター きっずサポートかわさき 連絡先：044-589-4557	

お子さん・家族の意向
（希望する生活・目標）

お子さん・家族が困っていること
サポートが必要なこと

支援の方向性・手立て

こちらの欄に、サービス利用対象期間が記載されている方は、支援方針を確認資料として、児童発達支援、放課後等デイサービスの申請が可能



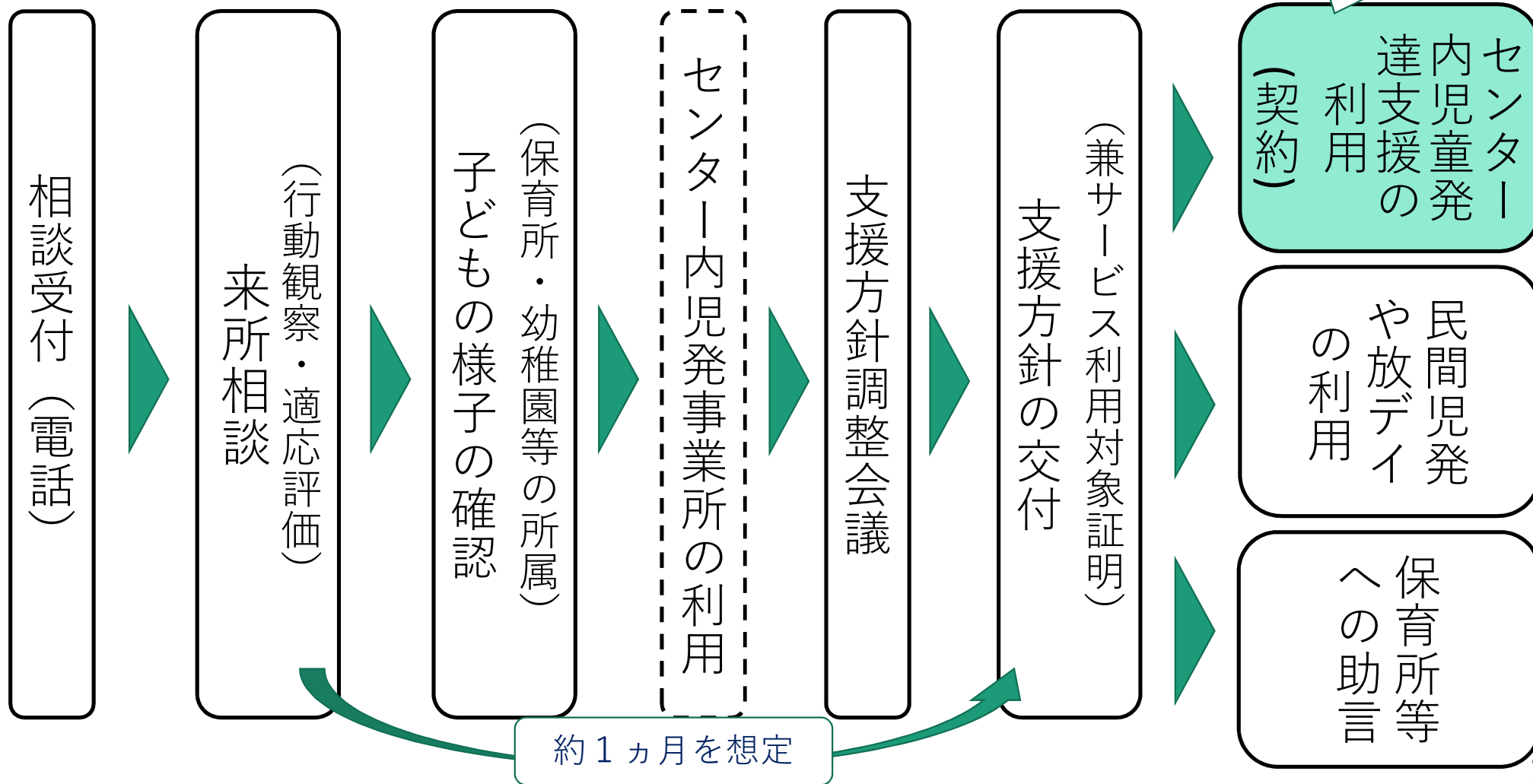
Vineland-II 適応行動尺度

支援方針の裏面に記載

Vineland-IIを実施しない場合は、
表面の支援方針のみで交付します。

支援方針の交付について

3 か月～6 か月の
期間限定

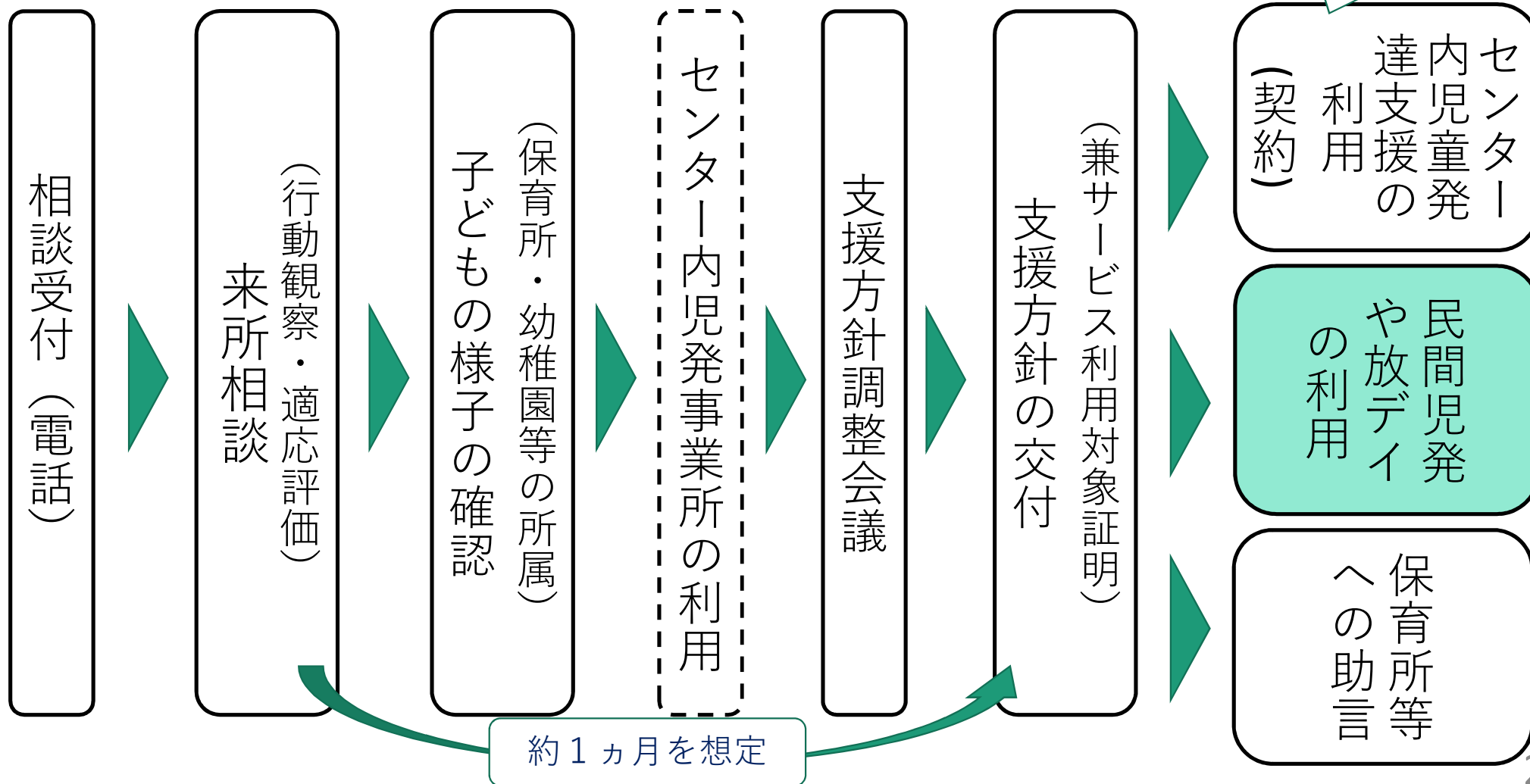


センター内児童発達支援事業所について

- ・ センター内児発は、子ども発達・相談センターで相談し、利用の必要性があると同センターが判断した場合のみ利用可能です。
- ・ センター内児発の利用期間は、3か月が基本(最大6か月)です。

支援方針の交付について

3 か月～6 か月の
期間限定



他の事業所等へ移行する場合

- ・ センター内児発（体験を含む）を利用後、継続的な療育が必要と判断した場合は、他の事業所等の利用を提案することがあります。
- ・ 他の事業所等を利用する場合、保護者の方が支援方針や、センター内児発が作成した個別支援計画書等を持参する場合があります。
- ・ 保護者の方が支援方針や個別支援計画書等を持参された際は、参考にさせていただきますようお願いいたします。

子ども発達・相談センターの特徴

- 来所相談から1か月程度でのすみやかな支援方針の作成
→児童発達支援事業所・放課後等デイサービスへの通所が可能
支援方針は、成長に応じて見直しも行う
 - センター内児童発達支援事業所の利用による評価・療育
 - 親子のニーズ、見立てに応じた適切な支援先へのつなぎ
→利用後に、所属等へ必要な療育や対応の助言を行う
-
- × 医学的診断・評価、PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）の評価
 - × 中・長期的な継続支援

皆様へのお願い

①新規利用希望者が、障害者手帳等を所持していない場合は、子ども発達・相談センターをご案内ください。当センターにて、面接を行い、サービス利用の必要性が認められた場合は「サービス利用対象証明欄に記載のある支援方針」を発行します。

※障害者手帳等を所持している場合は、従来通り新規利用希望者がお住まい区役所の高齢・障害課をご案内ください。

②すでに地域療育センターへ相談している方は、引き続き地域療育センターでの対応となります。（心理検査・診察待機等を含む）

※診断について

子ども発達・相談センターには、診療所機能はないため、診断および診断書の作成はできません。

ご視聴ありがとうございました

